

事業コード	H21-建-新-08		区 分	国庫補助 県単独
事業名	地方特定道路整備費(建設)		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2493
路線名等	主要地方道 秋田八郎潟線		担当課長名	小嶋 宣英
箇所名	南秋田郡五城目町舘越		担当者名	主幹兼班長 遠田 久雄
総合計画との関連	政策コード	22	政 策 名	社会の変化に対応した新たな生活圏の創造
	施策コード	04	施 策 名	地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備
	指標コード	01	施策目標(指標)名	各市町村役場から30分以内到達圏域内の人口比率

## 1. 事業の概要

事業期間	H22 ~ H24 (3年)		総事業費	2.5億円	国庫補助率	-	
事業規模	延長L=520m 幅員W=6.0(8.5)m (1.25+6.0+1.25)						
事業の立案に至る背景	当該路線は、秋田市を起点とし八郎潟町に至る幹線道路であり、県央内陸部の地域間交流を支える主要な道路である。当該区間は沿線集落を結ぶ重要な道路で、通学路指定路線になっている。しかし、幅員狭小(最小幅員W=5.0m)で急カーブ(曲線半径R=100m未満)が多数あり、歩道もないため、歩行者の安全確保や大型車の通行に支障をきたしている。また、冬期は路肩堆雪による道路空間の減少により、歩行者の通行や車両相互のすれ違いが困難となっている。このため、現道の通過交通をバイパスに転換させることにより、円滑な交通の確保と地域住民の安全性を早急に確保するため、新規箇所として要望するものである。						
事業目的	大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくり支援) 通学路における児童の安全確保(安全な生活環境の確保) 路肩の堆雪幅不足区間の解消(防災、危機管理の充実)						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H24 年度以降
	事業費		250,000	100,000	100,000	50,000	
	経費内訳	工事費	136,000		91,000	45,000	
		用補費	97,000	97,000			
		その他	17,000	3,000	9,000	5,000	
	財源内訳	国庫補助					
		県 債	225,000	90,000	90,000	45,000	
その他							
一般財源	25,000	10,000	10,000	5,000			
事業内容			調査・設計 用地補償	改良工 舗装工	改良工 舗装工		
調査経緯	平成17年度 道路概略設計 平成19年度 道路予備設計						
上位計画での位置付け	総合計画「第4期実施計画」における施策「地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備」を支援する事業						
関連プロジェクト等	杉沢地区ふるさと地域力発掘支援モデル事業(H20~H24)						
事業を取り巻く情勢の変化	幅員狭小、線形不良で歩道がないため、大型車の通行や児童が通学する際、危険な状態が続いており、平成21年5月には自転車道が道路脇用水路に転落する死亡事故が発生している。						
事業効率把握の手法	指標名	各市町村役場から30分以内到達圏域内の人口比率					
	指標式	国土交通省「全国総合交通分析システム(NITAS)」利用による分析					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	96 %		データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	96 %					
	達成率 b/a	100 %		把握の時期	平成21年 4月		

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	当該区間は幅員狭小(Wmin=5.0m)で急カーブが多数(R=30m:2箇所、R=40m:1箇所、R=70m:1箇所)あり、歩道もないため歩行者の安全確保や大型車の通行に支障をきたしている。 現道は、事故率も61.6件/億台キロ(県平均41.0件/億台キロの1.5倍)と高く、また、通学路指定路線(五城目小学校)であり早急な改良が必要である。 平成21年5月には自転車、道路脇用水路に転落する死亡事故が発生している。	37 点
緊 急 性	H17センサスでは、2,372台/日とH2センサス2,180台/日に比べ交通量が増加しており、併せて冬期には、路肩堆雪による道路空間の減少により円滑な交通に支障をきたしている。 本路線は五城目町の地域振興プロジェクトである「杉沢地区ふるさと地域力発掘支援モデル事業」を支援する道路としての機能も有する。	7 点
有 効 性	二次生活圏である秋田市までの生活圏30分形成道路である。 第二次救急医療施設である湖東総合病院へのアクセス道路となっている。 地域防災計画における避難所及び避難場所(馬川地区公民館)への経路となっている。	15 点
効 率 性	事業の費用便益比は1.3であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 2.5億円 ・総便益の現在価値 3.3億円 計画交通量は3,200台/日となっている。	15 点
熟 度	五城目町から当該区間の早期改良要望書が出されている。 事業説明会及び設計説明会を開催し、地元の内諾を得ている。	15 点
判 定	ランク ( )	89 点
	判定ランク であり、また、「必要性」が特に高い点数となっており、住民の安全・安心の向上の面で有用な事業箇所であり、実施すべきと考える。	
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留	89 点
	評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	急カーブや冬期の大型車の交差困難を解消し、歩行者の安全性を確保するために、本事業の必要性及び緊急性はともに高く、事業の実施は妥当と判断される。

## 4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
	当該区間は、幅員の狭小、線形不良等により改良の必要性があり、当事業の実施は妥当と考えられる。

## 5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定 改善して選定 保留
	事業の実施は妥当である。

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

来年度の新規事業箇所として予算要求する。
----------------------

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 新規箇所評価

事業コード(H21-建-新-08 )

適用基準名 道路改築事業(地域内・生活圏交通促進)

箇所名 (南秋田郡五城目町館越 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	25	25	
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	20		
	・最小半径 < 100m	1箇所	15		
	・最急勾配 > 5%	0箇所	0		
	・冬期堆雪巾なし	5件該当	15		
	道路環境上の欠陥該当項目	4件該当	12		
	・現道の混雑度 1.0	3件該当	9		
	・現道の旅行速度 30km/h	2件該当	6		
	・現道の事故率 50件	1件該当	3		
・通学路指定で歩道なし	該当項目なし	0			
・重大交通事故が発生					
計			40	37	
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	あり	4	4	
	・県の主要プロジェクト				
	・地域振興プロジェクト				
	・ほ場整備等の他事業	なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	3		
		位置づけなし	0		
交通量	増加している	3	3		
	増加していない	0			
特有の課題の有無	あり	5	0		
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0			
計			15	7	
有効性	道路の位置づけ				
	生活圏30分形成道路等	該当する	5	5	
		該当しない	0		
	救急医療施設へのアクセス道路	該当する	5		
		該当しない	0		
地域防災計画上重要な道路	該当する	5	5		
	該当しない	0			
計			15	15	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比(B/C)	1.0以上	8	8	
		0.5以上1.0未満	5		
		0.5未満	0		
	計画交通量	1,000台/日以上	7		
	500台/日以上1,000台日/未満	5			
	300台/日以上500台日/未満	3			
	300台/日未満	0			
計			15	15	
熟度	地元の状況				
	地元ニーズ	文書要望あり	5	5	
		口頭要望あり	3		
		要望なし	0		
	地元の協力体制	地元の内諾	5	5	
	用地反対	0			
地元への方針説明	あり	5	5		
	なし	0			
計			15	15	
合計			100	89	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		